

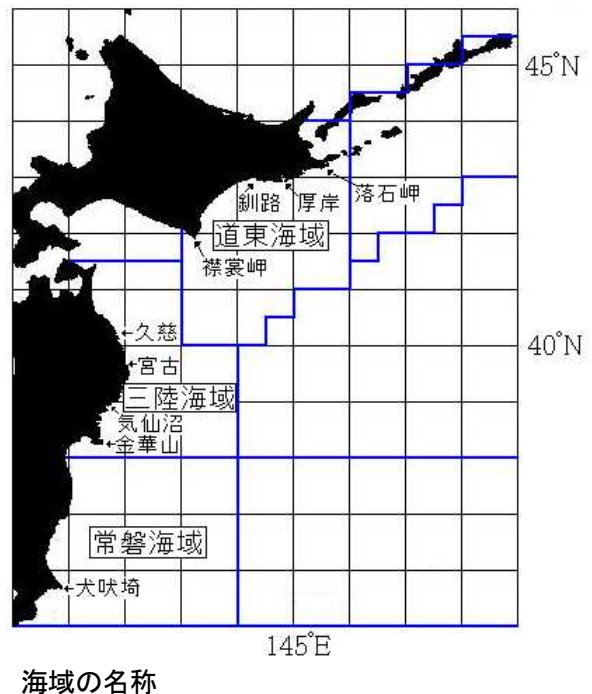
2023年度 第4回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2023年10月中旬～11月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、10月中旬の来遊量は低位水準で増加する。
- ・三陸海域では、10月中旬の来遊量は低位水準で増加する。
- ・常磐海域では、11月上旬になると断続的に来遊があるが、来遊量は少ない。



問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、緑川
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

2023年度 第4回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2023年10月中旬から11月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

10月中旬の来遊量は、低位水準で増加する。10月下旬～11月中旬の来遊量は、低位水準で推移する。

11月下旬は、断続的な来遊となり、終漁となる。多くの魚群は、道東海域よりも東～南側を南下する。

(2) 漁場

道東海域では、10月中旬～11月中旬は落石～襟裳岬沖に漁場が形成されるが、道東海域より東～南側の公海も漁場となる。11月下旬は、襟裳岬沖に漁場が残る。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

10月中旬～下旬の来遊量は、増加するものの、低位水準である。来遊量は、11月上旬～中旬は低位水準で推移し、11月下旬は低位水準で減少する。

(2) 漁場

10月中旬～11月下旬は、三陸北部～南部海域に漁場が形成される。主漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

10月中旬～下旬は、来遊は無い。11月上旬～下旬は断続的な来遊があるが、来遊量は少ない。

(2) 漁場

10月中旬～下旬は、漁場は形成されない。11月上旬～下旬は、常磐北部に漁場が形成される。

2. 予測の概要

海 域		10月中旬	10月下旬	11月上旬	11月中旬	11月下旬
道東海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位水準	低位水準	低位水準	断続的
	漁 場	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	落石～襟裳岬沖	襟裳岬沖
三陸海域	来遊量					
	動向	低位増加	低位増加	低位水準	低位水準	低位減少
	漁 場	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部～南部	三陸北部～南部
常磐海域	来遊量					
	動向			断続的	断続的	断続的
	漁 場			常磐北部	常磐北部	常磐北部

3. 漁況の経過概要（9月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

道東海域に漁場が形成されたが、漁獲量は少なかった。前年は漁獲が無かったことから、来遊量は前年を上回ったものの、少なかった。

主漁場は、道東海域より東側の公海であった。1日1隻あたり最高で47トン程度漁獲した船もあったが、漁獲量が少ない船が多かった。CPUE（1網あたりの漁獲量）は9月中旬よりやや増加し、前年を上回った。これらのことから、魚群の多くは道東海域よりも沖合に分布しており、分布量は前年よりも多いものの少なかった。

(2) 漁場

道東海域では、25日夜と27日夜に小型船が数隻操業し、平均2.0トン程度漁獲した。

主漁場は、道東海域東側の公海であるが、9月中旬よりも漁場は西側に広がり、落石東南東250～280海里と落石東330海里～東北東410海里であった。

落石東南東250～280海里の漁場水温17～20℃では、23日夜、25日夜、30日夜に大型船数隻と小型船数隻が操業し、最高3トン、平均0.9トン漁獲した。

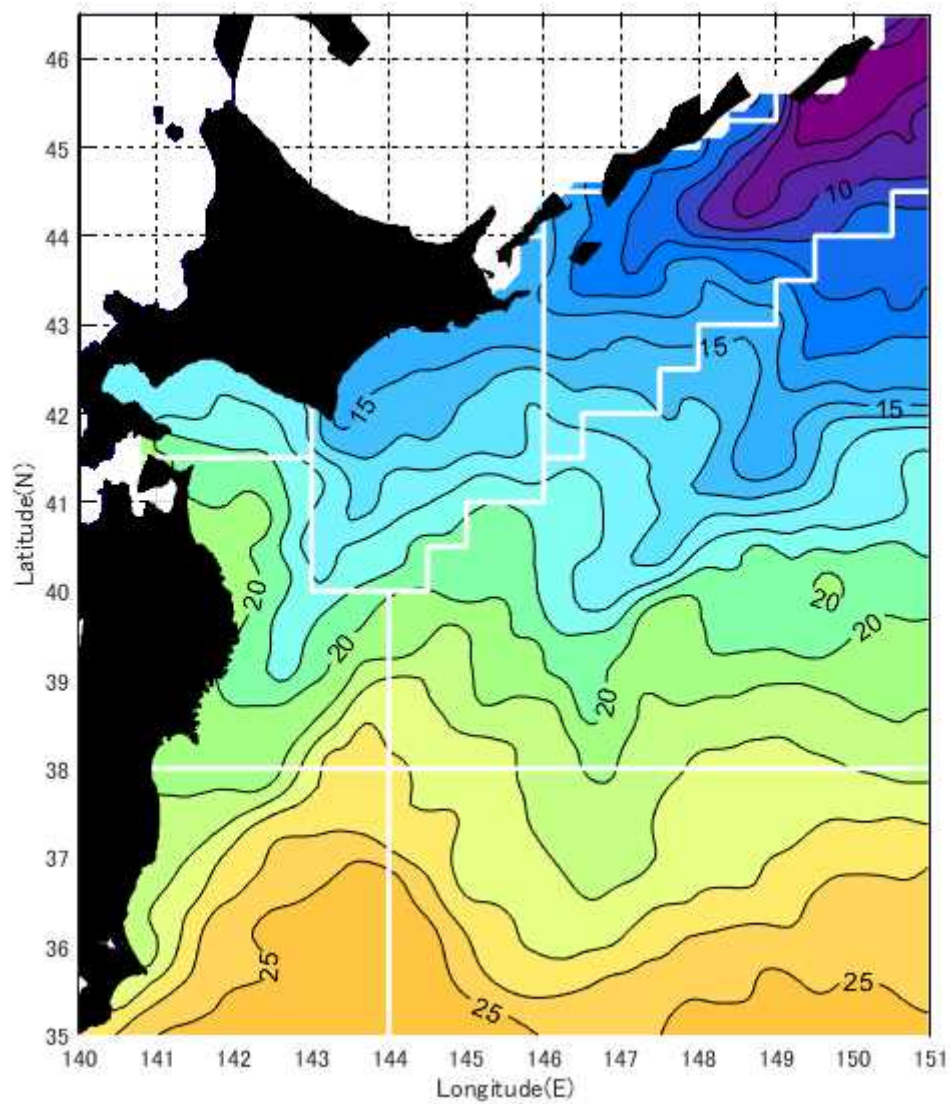
落石東330海里～東北東410海里の漁場水温16～19℃では、大型船が10～40隻程度と小型船が数隻操業し、最高47トン、平均11.6トン漁獲した。

(3) 魚体

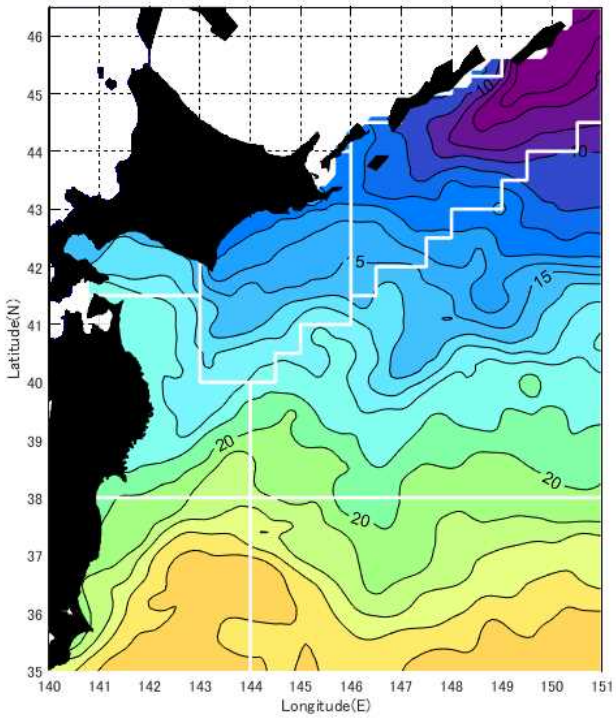
道東海域および道東海域より東側では、体長25～30cmモードであった。体重は60～120g台が主体であった。

4. 予測水温分布図

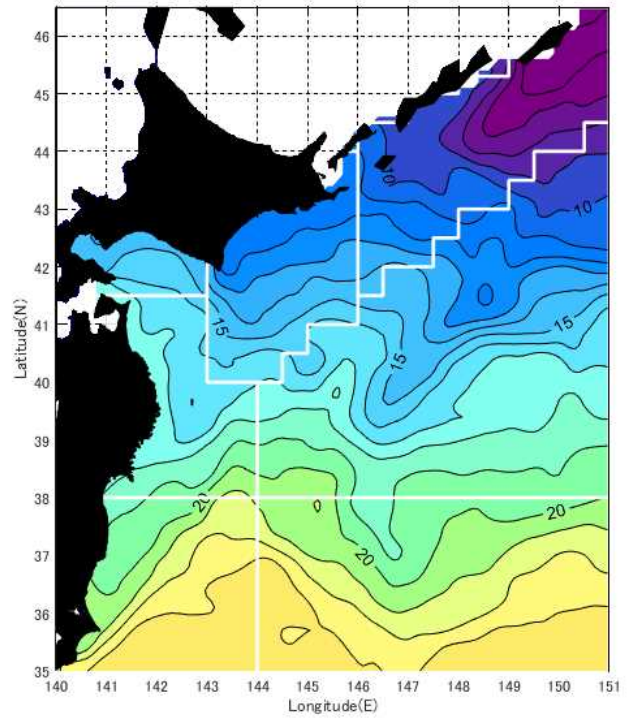
10月中旬予測表面水温分布図



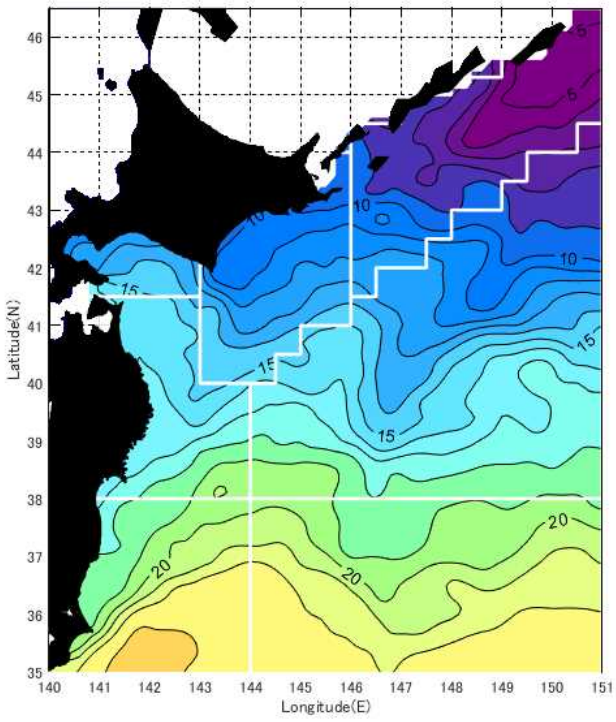
10月下旬予測表面水温分布図



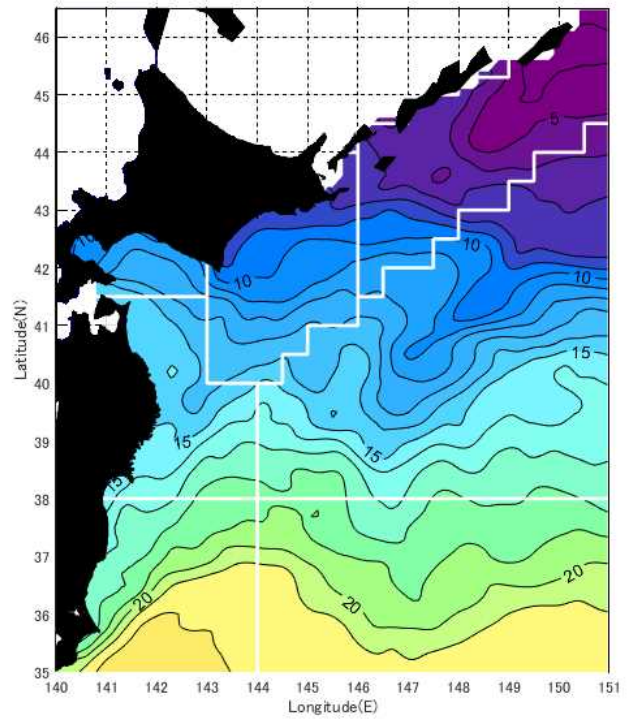
11月上旬予測表面水温分布図



11月中旬予測表面水温分布図



11月下旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---